

台湾における韓国のイメージ形成と韓国語学習の関係 —アンケートを通して見た現状と変化—¹

生 越 直 樹

はじめに

筆者を含む研究グループは、2003年から2004年にかけて、日本、韓国、台湾において、日本（人）、韓国（人）に対するイメージ形成と日本語、韓国語学習の関係を明らかにするためにアンケート調査を行った。² 筆者は韓国（人）のイメージ形成と韓国語学習の関係を担当し、日本と台湾で調査を行った。その調査結果は、齋藤編（2012）にまとめられている。生越（2012）では、台湾と日本での韓国・韓国語に関する調査結果、台湾での日本・日本語に関する調査結果を比較しながら、台湾での韓国のイメージと韓国語学習の関係について論じ、以下のことを指摘した。

- ①韓国に対するイメージに関しては、台湾の学習者と日本の学習者がほとんど同じ回答傾向で、比較的よいイメージを持っている。言語の学習がイメージに関係していると考えられる。
- ②台湾では、イメージ形成、学習動機ともにサブカルチャーが大きな影響を与えている。これは、日本語も韓国語も同様である。一方、日本ではイメージ形成、学習動機ともにサブカルチャーはあまり大きな影響を与えていない。ただし、日本の調査が行われたのが韓流ブーム以前だったので、その後変化している可能性がある。
- ③台湾の学習者は、映画・テレビを見る、留学、就職など、具体的な学習動機を持っている。これは韓国の日本語学習者と同様であり、台湾、韓国とも外国語学習において実用的な面を重視する傾向がある。一方、日本の韓国語学習者は韓国への興味など、漠然とした学習動機が多い。

前回の調査から10年以上経過し、日本、韓国、台湾における日本、韓国のイメージや日本語、韓国語を巡る状況も変化している。我々のグループは、前回と同じ調査を行うことにより、日本、韓国のイメージおよび日本語学習、韓国語学習の変化を探ることにした。前回と同様、筆

¹ This work was supported by the Core University Program for Korean Studies through the Ministry of Education of the Republic of Korea and Korean Studies Promotion Service of the Academy of Korean Studies (AKS-2014-OLU-2250002).

² プロジェクトのリーダーは、齋藤明美翰林大学教授で、分担者として篠原信行台湾大学教授（当時）、任榮哲中央大学教授（当時）、生越が参加し、後に齋藤良子氏（東京大学博士課程（当時））が分担者として加わった。

者は日本と台湾の韓国語学習に対する調査を担当し、まず台湾での調査を行った。本稿は、台湾での調査結果の分析と前回調査との比較を行うことにより、台湾における韓国（人）イメージの形成、および韓国語学習との関連性について、その現状と変化を探ることを目的とする。

1. 調査の概要

今回の台湾調査では、韓国語学習とイメージ形成の関係を探るために、韓国語を専攻とする大学生（以下、専攻学習者と呼ぶ）、教養外国語として勉強する大学生（以下、教養学習者と呼ぶ）、韓国語を学習したことのない大学生（以下、未学習者と呼ぶ）の3つのグループに対して調査を行った。調査はいずれも2017年5～6月に行われ、基本的に授業でアンケート用紙を配布、回収する方法を取った。専攻学習者に対する調査はS大学とT大学、教養学習者への調査はT大学とG大学、未学習者への調査はK大学で行った。各大学の所在地は異なるが、学生の出身地は各大学とも全国に分散し、特定の地域に偏ることはなかった。調査協力者のうち留学生や大学院生を除外し、未学習者対象の調査では学習経験のある学生を除いた結果、有効回答数は、専攻学習者が142名、教養学習者が82名、未学習者81名であった。

台湾には、韓国語関係の学科がある大学が2校（政治大学、中国文化大学）、学科の中に韓国語関係のコースが設置されている大学が1校（高雄大学）ある。今回の調査はそのうちの2校の協力を得て、専攻学習者の調査を行った。調査対象者が台湾における専攻学習者のかなりの割合をカバーしていることから、今回の結果は台湾における韓国語専攻学生の全体的な傾向を反映しているものと考えられる。これに対し、教養学習者、未学習者の調査は、一部の大学でしか行っておらず、今回の結果がそれぞれのグループの全体的傾向を反映しているとは言えない。特に、未学習者については、日本語を学んでいる学生に対して行ったので、それが調査結果に影響を及ぼした可能性がある。

今回の調査と比較する前回のアンケート調査についても、概要を述べておく。前回の調査は、2004年M大学の韓国語学科所属学生に対して行い、131名から回答を得た。実施方法は今回と同じく授業でアンケート用紙を配布、回収する方法を取った。韓国語関係の学科、コースが設けられている3校のうち、前回はM大学、今回はS大学とK大学で調査を行ったので、調査対象大学は重なっていない。したがって、調査結果には調査時期の他に大学による違いが反映されている可能性もあり、前回と今回を比較する際には注意が必要であろう。

2. 韓国に対するイメージ

調査ではまず、韓国に対してどのようなイメージを持っているか、という質問をした（資料の調査票1.1参照）。結果は図1のようになった。専攻学習者と教養学習者では数値にほとんど違いがなかったので、まとめて学習者とし、合わせて前回の学習者の数値も示した。

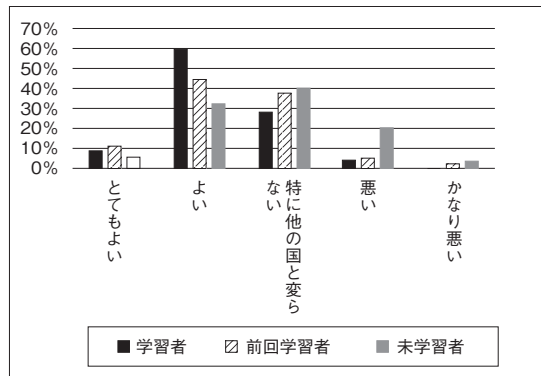


図1 韓国に対するイメージ

今回、前回とも学習者ではよいイメージを持つ学生が多く、さらに、前回より今回の方がよいイメージを持つ学生の割合が増えている。学習者におけるイメージは前回に比べてさらによくなっているようである。学習者の方がよいイメージを持つことは、このプロジェクトの他の調査でも見られ、言語学習とイメージに関連性があることがわかる。ただし、未学習者でもよいイメージを持つ学生の割合が少し多いことから、全体的に見ても台湾の学生たちの韓国イメージはよい方と言えるだろう。

次に、韓国のイメージ形成にどのような要素が影響を与えているかを調べてみた。調査方法は、イメージ形成に影響を与えそうな様々な項目を示し、影響を与えている度合いを、大・中・小・無の4つから選択させる方法をとった（質問票 1.2 参照）。回答の大を3、中を2、小を1と数値化し、項目ごとに専攻学習者、教養学習者、未学習者の平均値を示したのが図2である。図2では、専攻学習者の数値が大きい順に項目を並べている。数値が大きくなるほど、その項目は韓国のイメージ形成において大きな影響を及ぼしていることになる。

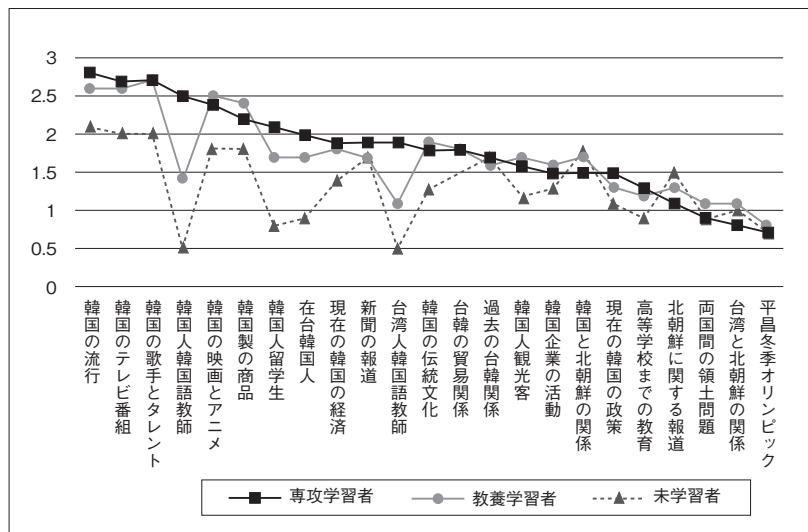


図2 韓国イメージ形成への影響項目

図2のように、影響の大きい項目は、流行、テレビ番組、歌手タレント、映画アニメというサブカルチャーに関する項目が並んでいる。数値の違いはあるものの、この傾向は学習者、未学習者を問わず全体的な傾向になっている。専攻学習者と教養学習者は大体同じ傾向であるが、韓国人韓国語教師と台湾人韓国語教師で大きな差が生じている。専攻学習者は韓国語を教える韓国人教師や台湾人教師と多くの時間接触していることから、影響度が高くなっていると考えられる。さらに、未学習者では、教師の他に韓国人留学生、在台韓国人という人に関係する項目で数値が低くなっている。これは韓国人や韓国語関係者との接触があまりないためであろう。また、未学習者では、新聞の報道、過去の台韓関係、韓国と北朝鮮の関係、台湾と北朝鮮の関係で比較的数字が高くなっており、マスコミなどによる情報がイメージ形成にかなりの影響を与えていることがわかる。

次に、前回の調査と比べてみたのが図3である。前回の調査対象が専攻学習者のみなので、今回の専攻学習者と比較してみた。

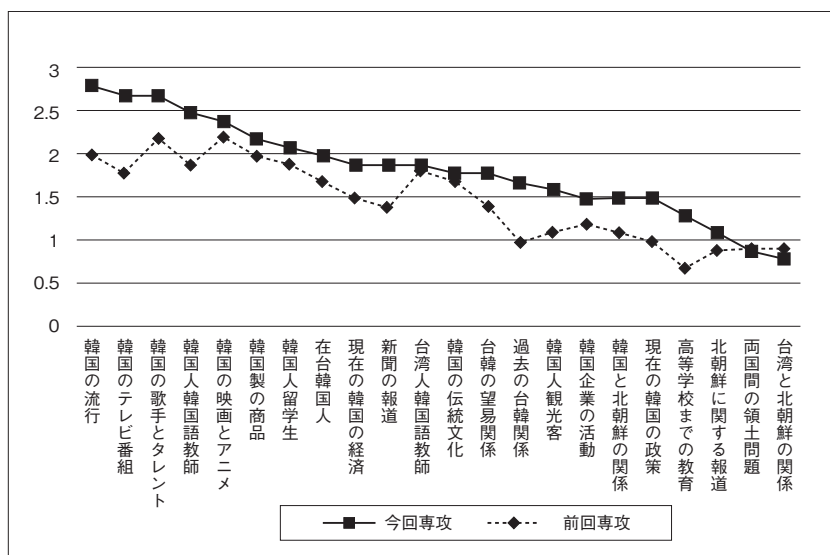


図3 韓国イメージ形成への影響項目（専攻学習者 前回と今回）

今回に比べて前は全体的に数値が低い傾向がある。全体的な数値の低さは、韓国に対する関心が低いと考えられ、前回より今回の方が韓国に対する関心が高くなっているようである。特に、サブカルチャー関係の項目で前回と今回の違いが顕著であり、前回に比べてサブカルチャーの影響が増していることがわかる。また、韓国人韓国語教師や韓国人観光客でも大きな差があり、韓国人との接触もイメージ形成への影響力を増している。さらに、経済や政治、歴史関係の項目でも差が生じている。前回、今回とも、サブカルチャーが最も大きな影響を持つ点は変わらないが、今回の学生は前回の学生に比べ、様々なことに関心を持ち、それがイメージ形成に影響しているようである。その背景には、台湾と韓国の関係の変化があると推測される。以前に比べて、台湾に来る韓国人が増えており、韓国企業の活動も活発になっている。様々な形で韓

国、韓国人に接する機会が多くなり、それに伴い、幅広い情報からイメージが形成されるようになっていと考えられる。

この調査では、韓国に対するイメージのほかに、韓国人に対するイメージ形成についても同じような質問をした（調査票 1.4 参照）。全体的な結果は韓国イメージとほぼ同じであるが、いくつか異なる点もあった。韓国イメージと韓国人イメージの結果を比べると、韓国イメージでは、商品や政治経済関係が相対的に高い数値になり、韓国人イメージでは留学生、在台韓国人、韓国人観光客で高くなる。当然のことながら、韓国人のイメージは接する韓国人により多く影響されることが確認できた。ただし、未学習者では、韓国イメージと韓国人イメージで人に関する項目の数値に大きな違いはなかった。未学習者は人との接触が多くないため、国と人を区別してイメージすることができないのかもしれない。また、前回調査の専攻学習者でも韓国と韓国人のイメージ形成に大きな違いがなかった。前回の時期は、まだ人的交流も少なく、韓国人と接触する機会が少なかったため、今回の未学習者と同様、国と人のイメージを区別していなかったと考えられる。

3. 韓国語学習の動機と韓国語の将来性

3.1. 学習の動機

調査では、学習者に対して韓国語学習の動機についても質問した（質問票 2.1 参照）。図 4 は、専攻学習者と教養学習者の結果を示したものである。両者とも大体の傾向は似ており、「韓国に興味がある」「映画テレビに興味」「韓国知りたい」という回答が高い数値となっている。台湾の学生が韓国語を学習する動機は、韓国への関心、特にサブカルチャーへの関心であることがわかる。専攻学習者は「留学」「就職」で数値が高く、単なる関心だけでなく、実利的な目的も動機となっている。この点は、教養学習者と異なる点である。

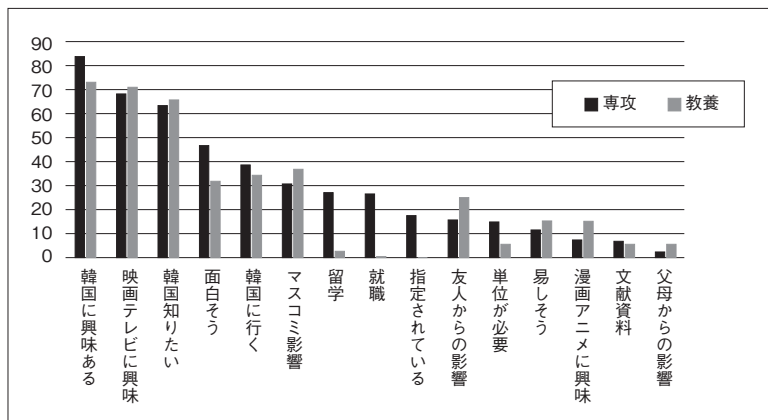


図 4 韓国語学習動機（複数回答）（専攻学習者と教養学習者）（数値は%）

次の図 5 は、専攻学習者について、前回と今回の数値を比較したものである。前回も今回も質問内容、選択肢とも同じであるが、回答結果にはかなり違いが見られる。前は「指定されてい

る（韓国語が指定されていて、学習せざるを得なかった）」「単位が必要」という消極的な動機の数値が高かった。また、韓国への関心についての項目も比較的高い数値であるが、50%を超える項目はなかった。一方、今回は動機として「韓国に興味がある」と答えた学生が8割以上おり、多くの学生が韓国への関心を持って韓国語を学習していることがわかる。また、「面白そう」という項目の数値が前回に比べかなり高くなっている。一方、「指定されている」など消極的な動機を挙げる学生は少数であった。これらの結果から、前回に比べ今回は、韓国語に対して積極的な学習動機を持つ学生が増えていると言える。2004年当時の台湾では、現在に比べてまだ韓国ドラマや音楽が浸透しておらず、韓国人観光客も多くなかった。このような韓国や韓国語についての情報量の差が、韓国語学習の動機にも影響を与えているようである。

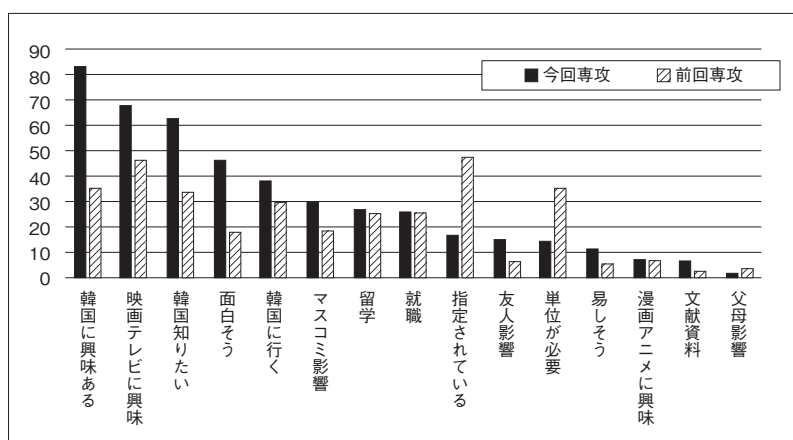


図5 韓国語学習動機（複数回答）（専攻学習者 前回と今回）（数値は%）

3.2. 活用方法

学習者には、さらに、大学卒業後に韓国語を使っていたいことを尋ねた（質問票 2.5 参照）。結果を見ると、専攻学習者は「仕事上韓国語を必要とする会社に就職したい」（60.6%）、「翻訳家になりたい」（43.0%）などで数値が高く、自分の将来設計で韓国語を具体的に活用することを考えているのに対し、教養学習者では「観光旅行をしたい」（78.1%）で顕著に数値が高く、気楽な活用法を考えている。さらに、図6は前回と今回の専攻学習者を比較した結果である。

図6のように、前回の専攻学習者でも「仕事に必要な会社に就職」の項目が最も高い数値であるが、今回と比べると半分程度の数値にとどまる。他の項目も全体的に今回に比べて数値が低く、今回より数値が高い項目がないことから、前回の専攻学習者はあまり具体的な活用法を描けていないことがわかる。以前は韓国との経済的、人的交流が活発でなく、韓国語が使える会社が少なかったためであろう。それに比べて、現在は経済的、人的交流が増えており、社会的に韓国語を活用できる状況になっている。このような社会情勢の違いが前回と今回の違いを生んだと思われる。また、前節の学習動機に関しても今回の専攻学習者の方が前回に比べ積極的な学習動機を持つ学生が多かった。卒業後の活用方法でも、今回の学生は明確な活用方法を考えており、積極的な学習動機と具体的な活用方法には関連があるようである。

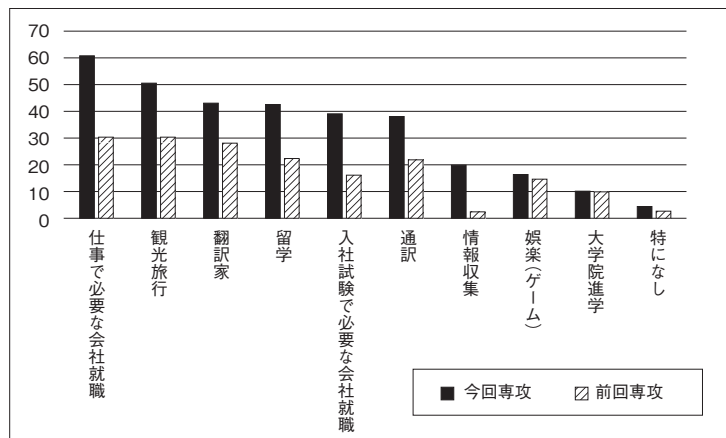


図6 卒業後の韓国語活用方法（複数回答）（専攻学習者 前回と今回）（数値は%）

3.3. 将来性

調査では、未学習者も含め、「韓国語を勉強して将来役立つと思うか」という質問をした（質問票 1.9 参照）。学習者は専攻学習者、教養学習者ともほぼ 100% の学生が将来役に立つと回答し、未学習者でも 75% 程度の学生が役に立つと回答した。未学習者でも多くの学生が役に立つと思っていることから、台湾で韓国語は学ぶ価値がある言語と見なされていることがわかった。さらに、役に立つと答えた学生には、具体的に何の役に立つかを尋ねた（質問票 1.9a 参照）。その結果を示したのが、図 7 である。

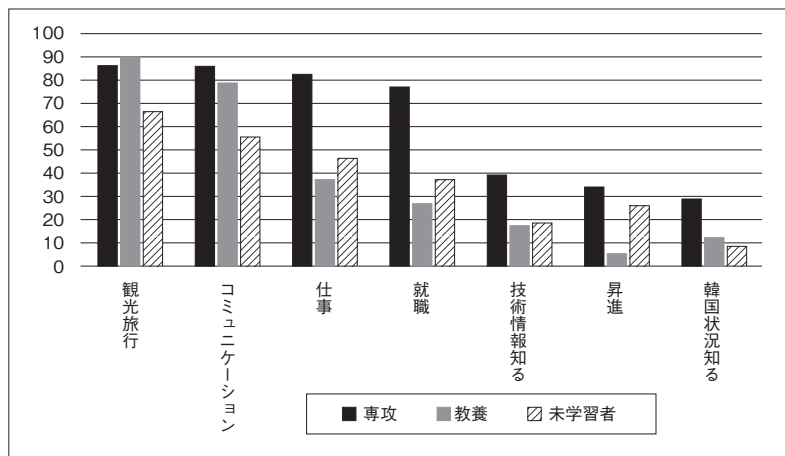


図7 将来役に立つこと（複数回答）（数値は%）

「観光旅行」や「コミュニケーション」の数値が高く、「昇進」や「韓国状況知る」という項目で数値が低くなる傾向は、専攻学習者、教養学習者、未学習者のいずれにおいてもほぼ共通している。「観光旅行」や「コミュニケーション」で役立つと考えるのは、おそらく韓国語に限ら

ず、外国語学習一般に言えることであろう。「韓国状況知る（韓国の状況を知るため）」という項目の数値が低かったのは意外であったが、具体的に役に立つことという質問からみると、具体性がないと判断したのかもしれない。³ 専攻学習者は「仕事」「就職」で高い数値となっており、これは卒業後の活用方法と共通している。なお、前回の専攻学習者の結果も、今回の専攻学習者とほぼ同じ傾向である。卒業後の活用方法と異なり、数値の違いもそれほどない。卒業後の活用方法を尋ねた質問は、卒業後と限定して尋ねたのに対し、この質問は、将来役に立つかと漠然と尋ねたため、異なる結果が出たのかもしれない。

このほか、調査では台湾で重要視されている外国語を知るため、今後勉強して役に立つと思う言語を自由回答で3つ上げてもらった（質問票 1.10 参照）。表1は回答数が多かった言語とその回答比率を示したものである。

表1 今後役に立つ言語（数値は各回答者総数に対する比率）

	専攻学習者	教養学習者	未学習者	全体
英語	56.3%	80.5%	77.8%	68.5%
日本語	58.5%	63.4%	86.4%	67.2%
スペイン語	50.0%	29.3%	39.5%	41.6%
韓国語	32.4%	41.5%	14.8%	30.2%
ドイツ語	14.8%	29.3%	28.4%	22.3%

英語の数値が意外に低いのは、すでに勉強しているためかもしれない。専攻学習者の韓国語についても同様の可能性がある。また、未学習者は日本語学習者であるので、日本語の数値が高くなった可能性がある。おおよその傾向としては、台湾における韓国語の重要度は英語や日本語より低く、ドイツ語やフランス語より高い。スペイン語と同程度と言えるのではないか。なお、スペイン語が上位に上がっているのは、最近の日本での傾向と似た点があり興味深い。

まとめ

本稿では、2003～4年と2017年の2回、台湾の大学生に行ったアンケート調査をもとに、韓国に対するイメージ形成に影響を与える要因、さらに韓国語学習の動機や韓国語に対する将来性に関する結果について分析を行った。分析の結果をまとめると以下のようになる。

1) 前回より今回の学習者の方が韓国に対してよいイメージを持っている。未学習者は学習者ほどではないが、全体的によいイメージを持っており、以前に比べて台湾における韓国イメージはよくなっていると見られる。

2) 前回、今回とも、韓国（人）イメージの形成に最も大きな影響を与えているのは、サブカ

³ 2003年に日本の韓国語学習者に対して、同様の調査を行ったが、その調査では「韓国の状況を知るため」という回答が3割程度あり、台湾の韓国語学習者に比べるとかなり高い数値になっている。日本と台湾での違いと見てよいのか、「役に立つ」という表現の意味、翻訳の妥当性など、他の要素が関連している可能性もあるので、検討が必要である。

ルチャーである。その影響は前回より大きくなっている。専攻学習者では前回より教師の影響も大きくなっている。未学習者は、学習者に比べて、マスコミなどからの影響が大きい。今回は前回に比べ、多くの項目で影響の数値が高くなっており、イメージ形成に強く影響を与える要因は広範囲になっている。台湾と韓国の交流が活発になり、接する情報が多様化していることがその背景にあると考えられる。

3) 今回の学習者では、韓国と韓国人のイメージ形成に影響を与える項目が少し異なっているのに対し、前回の学習者や今回の未学習者は国と人で大きな違いがない。韓国人との接触が多くなることにより、国と人のイメージが区別されるようになることがわかった。

4) 韓国語の学習動機は、サブカルチャーへの関心が最も大きく、専攻学習者では就職など実利的な目的を挙げる者も多い。今回は前回に比べて積極的な学習動機を挙げる者が多く、また、卒業後の活用方法でも、今回は前回よりはっきりした目的を挙げる者が多かった。韓国との交流が活発になることにより、韓国語を使う具体的なイメージを持ちやすくなったのかもしれない。

2回の調査結果を分析した結果、台湾と韓国の経済的、人的交流が活発になったことなど、両国を取り巻く状況の変化が、イメージ形成や学習動機にかなり大きな影響を与えていることが確認できた。ただし、教養学習者と未学習者に関してはデータが限られており、さらにデータを収集した上で分析をする必要がある。本稿では台湾での調査のみを扱ったが、今後、日本でも調査を実施し、前回との違いおよび日本と台湾の違いについても分析を進める予定である。

最後に、今回のアンケート調査に協力していただいた台湾の学生諸君、調査実施にご尽力いただいた朴炳善先生、李京保先生と各大学の授業担当の先生方、結果集計を手伝ってくれた陳天驕さん、梁晶晶さんに感謝申し上げる。

参考文献

- 生越直樹 (2006) 「韓国に対するイメージ形成と韓国語学習」、『言語・情報・テキスト』13、東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻 (齊藤明美編 (2012) に「第I部 第2章 日本における韓国に対するイメージ形成と韓国語教育」として再掲)
- 生越直樹 (2012) 「第I部 第5章 台湾における韓国に対するイメージ形成と韓国語教育－日本調査との比較を中心に－」、『言語学習と国、国民、言語に対するイメージ形成の研究－日本と台湾の韓国語学習者と韓国と台湾の日本語学習者を中心に－』(齊藤明美編)、J&C (韓国ソウル)
- 齊藤明美 (2006) 「韓国と台湾における日本語学習の現状と日本に対するイメージについて」『日本語教育研究』11、韓国日語教育学会
- 齊藤明美編 (2012) 『言語学習と国、国民、言語に対するイメージ形成の研究－日本と台湾の韓国語学習者と韓国と台湾の日本語学習者を中心に－』、J&C (韓国ソウル)
- 齋藤良子 (2012) 「第I部 第3章 日本における韓国語学習者の韓国、韓国人、韓国語に対するイメージ変化」、『言語学習と国、国民、言語に対するイメージ形成の研究－日本と台湾の韓国語学習者と韓国と台湾の日本語学習者を中心に－』(齊藤明美編)、J&C (韓国ソウル)
- 篠原信行 (2003) 「台湾の大学生の日本と日本語に関する意識とそのイメージ形成に影響を与える要因について」『日本言語文芸研究』4、台湾日本語言文芸研究学会
- 채런강 (2005) 「대만의 한국어교육」『한국어교육론 3』(국제한국어교육학회 편)、한국문화사

資料

韓國與韓文相關問卷調

調查負責人 東京大學研究所綜合文化研究科 生越直樹

這是一份以台灣學生為對象的問卷調查。內容是有關於台灣大學生對於韓國・韓國人及韓文的印象調查、以及一些學習韓文上的具體相關事物。
因為沒有所謂의正確答案、請依直覺輕鬆作答、謝謝。

◎ 首先、請依照您自身情況回答下列問題。

請在 _____ 中填入資料、或圈選符合的選項。

0-1. 就讀 _____ 大學 _____ 學院 _____ 學系 _____ 組 _____ 年級

0-2. 年齡 _____ 歲

0-3. 國籍 (中華民國・南韓・北韓・其他)

0-4. 出生地 台灣 (_____ 縣市)、國外 (_____)

0-5. 您家中有人會說韓語嗎? (有 _____ 沒有 _____)

0-6. 您曾跟韓國老師學過韓文嗎? (有 _____ 沒有 _____)

0-7. 您認識韓國朋友嗎? (有 _____ 沒有 _____)

0-8. 您曾經學習過韓文嗎? (有 _____ 沒有 _____)

(回答‘有’的人請繼續作答)

0-8a. 您學了多久的韓文?

1. 半年以下 2. 半年以上未滿 1 年 3. 1 年以上未滿 2 年 4. 2 年以上

0-8b. 您是從何時開始學習的?

1. 國小之前 2. 國小 3. 國中 4. 高中 5. 大學以後

◎請回答下列問題

[關於對韓國・韓國人・韓語的印象]

1-1. 請問您對韓國的印象如何? (請圈選)

1. 很好 2. 好 3. 和別的國家沒甚麼不同 4. 不好 5. 很不好

1-2. 在形成對韓國印象的過程中、下列各個項目產生了多大的影響呢?

請逐項選出影響的程度、並請在□中打✓。

- | | | | | |
|--------------|----|----|----|----|
| (1) 過去的台韓關係 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (2) 韓國的傳統文化 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (3) 韓國的電影・動畫 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (4) 韓國的各種流行 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (5) 韓國觀光客 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (6) 報紙的報導 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (7) 高中以前的教育 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (8) 韓國的電視節目 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |

- | | | | | |
|-----------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| (9) 現在韓國的經濟狀況 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (10) 台灣和韓國的貿易關係 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (11) 韓國的歌手藝人 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (12) 韓國籍韓文老師 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (13) 本國籍韓文老師 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (14) 韓國製的商品 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (15) 兩國間的領土問題 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (16) 現在韓國的政策 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (17) 韓國的企業活動 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (18) 韓國留學生 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (19) 韓國平昌冬季奧運會 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (20) 在台灣的韓國人 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (21) 南韓和北韓關係 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (22) 台灣和北韓的關係 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |
| (23) 關於北韓的報導 | 大 ☐ | 中 ☐ | 小 ☐ | 無 ☐ |

1-3. 請問您對韓國人的印象如何？（請圈選）

（選肢肢 1-1 と同じ）

1-4. 在形成對韓國人印象的過程中、下列各個項目產生了多大的影響？

請逐項選出影響的程度、並請在□中打✓。

（選肢肢 1-2 と同じ）

（1-5.～1-8. 中略）

1-9. 您認為學習韓文將來會有用嗎？

1. 會 2. 不會 3. 其他（_____）

（回答「1. 會」的人 請續答 1-9a）

1-9a. 您認為在哪些方面會有具體上的幫助？（可複選）

①工作上 ②求職上 ③觀光旅行時 ④為了取得韓國國家概況 ⑤和韓國人交談時
⑥為了取得專門的技術・情報 ⑦升遷時 ⑧其他（_____）

1-10. 您認為今後要學習哪種語言比較有用？請按有用的程度依序寫出三種

(1) _____ (2) _____ (3) _____

〔關於學習韓文〕

2-1. 請問您為何學習韓文？（可複選）

a. 想了解韓國的事物 b. 覺得韓語比別的語言有趣 c. 覺得比較簡單
d. 對韓國・韓國人・韓國文化感興趣 e. 因為韓文是必修課不得不學 f. 受了媒體的影響
g. 受了朋友的影響 h. 受了父母的影響 i. 對韓國的電影、電視節目感興趣
j. 對韓國的漫畫、動畫感興趣 k. 為了解讀韓文的文獻資料 l. 為了要去韓國 m. 為了學分

n. 為了求職 o. 為了留學 p. 其他 (_____)

(2-2. ~2-4. 中略)

2-5. 大學畢業後、您打算仰仗韓文從事那方面的工作・活動？

- a. 想繼續讀研究所 b. 想去留學 c. 想成為翻譯人員
d. 想成為口譯人員 e. 想去觀光旅行 f. 想到工作上必須要使用韓語的公司就職
g. 想到徵才時要考韓文的公司就職 j. 娛樂（遊戲） i. 蒐集資訊
j. 沒有特別想做的事 k. 其他 (_____)

萬分感謝您的大力協助

(日本語訳)

韓国及び韓国語に関するアンケート調査

調査責任者 東京大学大学院総合文化研究科 生越直樹

このアンケート調査は台湾の大学生を対象にしています。内容は、台湾の大学生における韓国、韓国人、韓国語に対するイメージ、及び具体的な韓国語学習に関する事柄です。
正しいとか間違っているということはありませんので、感じられたとおりに気楽に答えてください。

◎最初に、あなたご自身のことについて少し教えてください。

_____の部分に書き入れるか、該当する部分・番号に○を付けてください。

0-1. 所属 _____ 大学 _____ 学院 _____ 学系 _____ 組 _____ 年

0-2. 年令 _____ 才 性別 (男、女)

0-3. 国籍 (中華民国、韓国、北朝鮮、その他)

0-4. 出生地 台湾 (_____ 縣市)、外国 (_____)

0-5. 家族に韓国語を話せる人がいますか。(はい いいえ)

0-6. 韓国人の先生に韓国語を教わったことがありますか。(はい いいえ)

0-7. 韓国人の知り合いがいますか。(はい いいえ)

0-8. 今まで韓国語を学習したことがありますか。(はい いいえ)

(はいと答えた人)

0-8a. 学習期間はどのくらいですか。

1. 半年未満 2. 半年以上 1 年未満 3. 1 年以上 2 年未満 4. 2 年以上

0-8b. いつ学習しましたか。

1. 小学校以前 2. 小学校時代 3. 中学校時代 4. 高校時代 5. 大学入学後

◎次の質問に答えてください。

[韓国、韓国人、韓国語のイメージについて]

1-1. あなたは**韓国**に対してどんなイメージを持っていますか。(○を付けてください)

1. とてもよい。 2. よい。 3. 特に他の国と変らない。
4. 悪い。 5. かなり悪い。

1-2. 以下の各事項は、あなたの**韓国**に対するイメージ形成にどのくらい大きな影響を与えていますか。各事項ごとに、影響の度合を一つずつ選び、□に✓を書き入れてください。

- | | | | | |
|-------------------|----|----|----|----|
| (1) 過去の台韓関係 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (2) 韓国の伝統文化 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (3) 韓国の映画, アニメ | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (4) 韓国の流行 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (5) 韓国人観光客 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (6) 新聞の報道 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (7) 高等学校までの教育 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (8) 韓国のテレビ番組 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (9) 現在の韓国の経済 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (10) 台湾と韓国との貿易関係 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (11) 韓国の歌手, タレント | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (12) 韓国人韓国語教師 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (13) 台湾人韓国語教師 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (14) 韓国製の商品 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (15) 両国間の領土問題 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (16) 現在の韓国の政策 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (17) 韓国企業の活動 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (18) 韓国人留学生 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (19) 韓国平昌冬季オリンピック | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (20) 在台湾韓国人 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (21) 韓国と北朝鮮の関係 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (22) 台湾と北朝鮮の関係 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |
| (23) 北朝鮮に関する報道 | 大□ | 中□ | 小□ | 無□ |

1-3. あなたは**韓国人**に対してどんなイメージを抱いていますか。(○を付けてください)

(選択肢 1-1 と同じ)

1-4. 以下の各事項は、あなたの**韓国人**に対するイメージ形成にどのくらい大きな影響を与えていますか。各事項ごとに影響の度合を一つずつ選び、□に✓を書き入れてください。

(選択肢 1-2 と同じ)

(1-5.~1-8. 中略)

1-9. 韓国語を勉強して将来役に立つと思いますか。

1. はい 2. いいえ 3. その他 ()

(「1. はい」を選んだ人だけ答えてください)

1-9a. 具体的にどのような点で役立つと思いますか。(複数選択可)

- ①仕事をする時 ②就職する時 ③観光旅行に行く時 ④韓国の状況を知るため
⑤韓国人とコミュニケーションする時 ⑥専門の技術、情報を知るため ⑦昇進する時
⑧その他 ()

1-10. あなたは今後どの外国語を勉強すれば役に立つと思いますか。役に立つと思う順に3つ書いてください。

(1) _____ (2) _____ (3) _____

[韓国語学習について]

2-1. 韓国語を学習している理由は何ですか。(複数選択可)

- a. 韓国のことが知りたい。 b. ほかの外国語より面白そう。 c. 易しそう。
d. 韓国、韓国人、韓国文化に興味がある。 e. 韓国語が指定されていて、学習せざるを得なかった。
f. マスコミの影響を受けた。 g. 友人の影響を受けた。 h. 父母の影響を受けた。
i. 韓国の映画、テレビ番組に興味がある。 j. 韓国の漫画、アニメに興味がある。
k. 韓国語の文献資料を読むため。 l. 韓国へ行くため。 m. 単位が必要。
n. 就職のため。 o. 留学するため。 p. その他 ()

(2-2.~2-4. 中略)

2-5. 大学を卒業した後、韓国語を使って何かしたいと考えていますか。

- a. 大学院に進学したい b. 留学したい c. 翻訳家になりたい d. 通訳になりたい
e. 観光旅行をしたい f. 仕事上韓国語を必要とする会社に就職したい
g. 入社試験に韓国語が必要な会社に就職したい h. 娯楽(ゲーム) i. 情報収集
j. 特になし k. その他 ()

ご協力どうもありがとうございました。